

平成 27 年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業
 (発達障害早期支援研究事業)
 成果報告書 (概要版)

実施機関名 (名張市教育委員会)

1. テーマ

発達障害支援アドバイザーを活用した発達障害の可能性のある児童の途切れない支援の構築 ～教育センターと学校の連携を通して～

2. 問題意識・提案背景

名張市においては、平成 19 年度より特別支援教育の体制整備を行ってきた。各校には、特別支援教育校内委員会を設置するとともに、特別支援教育コーディネーターを配置し、体制整備の充実に取り組んできた。また、特別支援教育コーディネーターの束ね役となる小中学校合わせて 7 名がチーフコーディネーターとして、名張市の特別支援教育の中心となり活動してきている。児童生徒の状況については、特別支援学級在籍児童生徒は増加の一途をたどり、通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒も国の調査と同様の割合で在籍している。特別支援学級在籍の児童生徒については、個別の指導計画や個別の教育支援計画が整備され、途切れのない支援ができています。しかし、通常の学級については、支援が少しずつ充実しつつあるが、個別の指導計画の作成率が低いなど、十分な支援ができていないといえない。

3. 指定校について

(小学校) 児童生徒数・職員数・学級数は、平成 27 年 11 月 1 日現在

学校名：つつじが丘小学校<拠点校>													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		計
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	104	4	95	3	98	3	99	3	107	4	93	3	
特別支援学級	4	1	1		4		1		2		5	2	
通級による指導 (対象者数)	1												
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立支援員	学習サポ	アドバイザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	27	1	6	1	2	2	1	1	1	2	46

学校名：名張小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		計
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	52	2	51	2	46	2	45	2	41	2	54	2	
特別支援学級	1		5		2		4		2	2	1	1	
通級による指導 (対象者数)	1		1		3		1		1		1		
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立支援員	学習サポ	アドバイザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	15	1	4	1	2	1	1	1	1	2	31

学校名：美旗小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	57	2	64	2	57	2	53	2	61	2	58	2	
特別支援学級	5		2		1		7	1	2	1	4	3	
通級による指導 (対象者数)			2										
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習 サポ	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	19	1	5	1	3	1	1	1	1	1	36

学校名：錦生赤目小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	38	2	25	1	39	2	42	2	33	1	33	1	
特別支援学級	0		0		1		1	1	1		2	1	
通級による指導 (対象者数)													
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習 サポ	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	12	1	3	1	1	0	1	1	1	0	23

学校名：桔梗が丘小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	93	3	81	3	69	2	68	2	85	3	85	3	
特別支援学級	2		2		3		0		1		3	3	
通級による指導 (対象者数)			2										
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習 サポ	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	20	0	3	1	2	1	1	1	1	1	33

学校名：すずらん台小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	26	1	33	1	35	1	29	1	40	2	35	1	
特別支援学級	2		2		3		1	1	0		2	1	
通級による指導 (対象者数)													
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習 サポ	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	9	1	3	1	2	1	1	1	1	0	22

学校名：梅が丘小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	56	2	45	2	54	2	62	2	46	2	75	3	
特別支援学級	1		2		0		2		2		2	2	
通級による指導 (対象者数)	1												
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習 サポ	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	18	1	4	1	2	1	1	1	1	1	33

学校名：百合が丘小学校													
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
通常の学級	53	2	71	3	84	3	85	3	75	3	66	2	
特別支援学級	1		1		2		4		1		2	2	
通級による指導 (対象者数)			1		2		2		1				
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	自立 支援員	学習 サポ	アドバイ ザー	S C	ALT	その他	計
教職員数	1	1	19	1	4	1	3	0	1	1	1	2	35

4. 指定校における取組概要

<p>(1) アドバイザーの配置</p> <p>拠点校アドバイザー1名と指定校アドバイザー7名が、各校において、通常の学級に在籍する児童について、支援が必要な児童を特定し、有効な支援方法を見出していった。拠点校アドバイザーは、指定校を巡回し、指定校アドバイザーや担任・コーディネーター等に指導・助言を行った。拠点校アドバイザー及び指定校アドバイザーは、自校で授業や子供の様子を観察し、知見をもとに特別支援教育コーディネーターや学級担任に、情報提供や指導助言を行った。</p> <p>(2) 連絡調整会議</p> <p>年間5回の連絡調整会議をもち、アドバイザー同士が情報の交換をしたり、支援のあり方について協議したりした。この会議には、名張市特別支援教育スーパーバイザー等の講師も招聘し、助言を受けながら協議を進めた。</p> <p>(3) 「ばりっ子チャレンジ教室」との連携</p> <p>名張市教育センターにおいて教育課程外で実施している発達支援教室「ばりっ子チャレンジ教室」を有効な手だての検証の場として活用した。</p> <p>(4) 各校での取り組み概要</p> <p>ア. 目的・目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点校・指定校に在籍する発達障害の可能性のある児童が、学校生活によりよく適応することができる。 ・対象児童の個別の教育支援計画を作成し、指導経過、支援のポイントをまとめ、有効な途切れのない支援を実現させる。 <p>イ. 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒の明確化</p>
--

<ul style="list-style-type: none"> ・担任による状況調査 ・アドバイザーによるアセスメント ・アドバイザー、担任、コーディネーター等での情報共有 <p>ウ. 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒に対する支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業（一斉指導）における指導方法の工夫内容 授業のめあての明確化、授業の流れの明確化、授業最後の振り返り、指示の明確化、個別説明、学習サポーターとの連携等。 ・放課後補充指導等の個別の指導における指導方法の工夫内容 対象児童へのチャレンジ教室の紹介・推奨、チャレンジ教室との連携・相談、個別の指導計画の共通理解・検討等。 <p>エ. 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童生徒に対する支援内容の妥当性の評価手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会においての報告・相談等の連携 ・アセスメントシートの交流 ・事例研究 <p>(5) 市内小中学校への還流</p> <p>本事業の成果と課題をまとめて、年度末の特別支援教育コーディネーター連絡会で報告し、三重大学附属特別支援学校のスーパーバイズを受けながら、市内各校への還流を行った。</p>
--

5. 主な成果

<p>(1) 学習面や行動面で何らかの困難を示す児童に対して、拠点校アドバイザーや指定校アドバイザーが担任と情報共有し、個々の児童の困難を分析しながら支援方法を工夫していくことができた。要因分析にあたっては、「行動振り返りシート」や「アセスメントシート」の活用を図った。</p> <p>(2) 学習面で困難を示す児童に対して行われた、「学習環境の調整」や「児童に達成感をもたせるための個別の支援」は、各校において取り組まれた有効な支援であった。行動面での支援が必要な児童に対しては、児童の不応行動が出そうな場面を予測し、不応行動をさせないため先手の支援を講じていくことが重要であった。また、登校時に母親と離れにくく教室に入れられないという事例が複数あったが、その支援としては、支援者の関わりで児童の気持ちを切り替えるようにしたことと、児童の教室での困り感を把握し、教室で成功体験を重ねられるようにしたことが有効であった。さらに、支援者が児童と信頼関係をつくることで、児童が大人に対して安心感をもち、学校生活が安定してきたという事例は多かった。児童との信頼関係の構築を第一に考えることは、アドバイザー連絡調整会議でも毎回話題になり、その重要性を再確認することができた。</p> <p>(3) 一斉指導における工夫改善として、各校で特に重視して取り組んできたことは、「めあてと活動の流れを明確にした分かりやすい授業づくり」と、「学習規律・学習習慣・生活習慣の定着」である。これらのことが定着すると、学校生活での困難を表していた児童だけでなく、多くの児童が安心して学習できるようになっていった。</p>
--

- (4) 各校においては、拠点校アドバイザーや指定校アドバイザーが校内委員会と連携して、校内支援を充実させたり、対象児を名張市特別支援教育システムの 2 次支援 3 次支援につないだりすることができた。
- (5) チャレンジ教室との連携としては、平成 27 年度チャレンジ教室に拠点校・指定校 4 校から 6 名の児童が拠点校及び指定校から参加した。これらの児童については、アドバイザーがチャレンジ教室での支援と学校生活をつなぐことができたため、アセスメントが正確にできるとともにより適切な手立てを講じることができた。
- (6) 連絡調整会議では、講師のアドバイスやアドバイザー相互の意見交換によって、それぞれの専門性を高めることができた。様々なケースを検討する中で見出した支援のポイントをまとめ、リーフレット「子どもの育ちを支援するために」を作成することができた。

6. 今後の課題と対応

- (1) 連絡調整会議では、拠点校アドバイザーと指定校アドバイザーが各校での取り組みの状況を報告し、講師のアドバイスや相互の意見交換によって、それぞれの専門性を高めることができた。しかし、会議の時間が限られているため、児童の困り感のとらえ方と、それに対する支援方法の話し合いをさらに充実させるための運営の工夫が必要である。また、さらに観点を絞って的確に児童のアセスメントができるよう、アセスメントに使用してきた名張市特別支援教育システムの「アセスメントシート」や「行動振り返りシート」の活用方法について、アドバイザーの研修をしていく必要がある。
- (2) 指定校で支援を進めるにあたって、指定校アドバイザーと担任・コーディネーターとが連携を図ることは必須である。しかし、そのための時間の保障が難しい。情報交換等のもち方等、各校において工夫はしてきたが、十分な時間が取れずに、支援の方向が定まりにくい状況になることもあった。特に指定校アドバイザーは、午前中で勤務を終えることがほとんどのため、担任との打ち合わせをする時間を設けることが難しい。したがって、今後は、短時間でも定期的に話し合いがもてるよう、指定校アドバイザーの勤務時間を調整するとともに、各校でその時間を確実に設けられる工夫をしていきたい。

7. 問い合わせ先

組織名：

- | | |
|-------------|--|
| (1) 担当部署 | 名張市教育委員会事務局学校教育室 |
| (2) 所在地 | 名張市鴻之台 1 番町 1 番地 |
| (3) 電話番号 | 0595-63-7882 |
| (4) FAX 番号 | 0595-63-9848 |
| (5) メールアドレス | gakkou@city.nabari.mie.jp |